

小学校だより

Vol.132



メタセコイアに託す

椋山女学園大学附属小学校長 河野 庸介

本校の正門から三階の玄関に続くスロープの右側に寄り添うようにして聳える二本のメタセコイアがある。落葉針葉樹であるメタセコイアは、今日、すっかり葉を落とし、冬空にその幹と枝とをくっきりと浮かび上がらせている。それぞれその高さは二十メートル前後、幹の周りは二メートルくらいである。毎朝、この二本のメタセコイアを見上げるたびに思うことがある。

正門付近から見上げる二本のメタセコイアはまるで一本の太木であるかのように、正確な二等辺三角形を形作っている。新緑の季節になれば、おそらく多くの人がこのメタセコイアが二本立ちとは気付かないであろう。それほど見事に一本の太木のような姿をしているのである。互いに自分の枝が相手に注ぐ日の光を遮らないように巧みに枝を広げているのである。それでいてそれぞれが高く、太くそして遅く成長している二本のメタセコイア。そこには、見上げる者をして思わず見とれさせるような力強さと美しさがある。山添の空に伸びる二本のメタセコイアには本校の教育目標でもある「強さ」と「美しさ」がある。それゆえに本校の子供たちにも、ぜひこのメタセコイアのように成長して欲しいのである。そんな夢を抱か

せる本校の二本のメタセコイアであるが、実は、椋山女学園中学校の正門近くにも大きなメタセコイアが聳えているのである。ただしこちらのメタセコイアは一本である。そして、一本ではありながらも、堂々とやはり大きな二等辺三角形に枝を張り出して他の木々を圧しているのである。きつとそんなメタセコイアを中学校で眺めてきただけに、本校の二本のメタセコイアがより新鮮に映るのである。

遠くから眺める人々には、まとまりのある集団として強くそして美しい小学校でありたい。入学式でも、合唱コンクールでも、運動会でも、そして卒業式でも椋山小学校としての力強さと集団の美を發揮できる学校になるよう努力を重ねたい。またメタセコイアに近づいて見上げる人のように、本校に立ち寄り一人一人の子供を見つめる人々には一人の小学生として強く、明るく、美しく成長している姿を見て貰いたいと思う。そのためには、楢小生として十分な力を身に付けさせるための日々の教育活動こそが求められることになる。

美しい花びらが私たちの目を楽しませてくれるのである。椋山小学校で過ごす六年間、それはやがて始まる中学校生活への準備期間でもあり、人生における土台作りの時でもある。楢小と楢中、それぞれの庭に立つメタセコイアを見上げながら、その強さや美しさをしっかりと身に付けた子供を育てなくてはならないと強く思う。小学生から中学生へと進んで行く子供たちは、二本立ちのメタセコイアから一本立ちのメタセコイアへと遅く伸びゆく成長の過程にあるのだ。楢小の子供たちをより良く成長させること、それが私たち楢小教職員に託された使命なのである。この使命を果たすことが本校に通う四百七十七名の楢小児童の充実した学園生活を約束することであり、また本校の教育を支えてくださっている多くの保護者の方々のご期待に応えることにもなるのだと思う。

桜花咲き乱れる日も近い。その華やかさの中で、楢小の子供たちが花びらのように美しく未来に向かって歩み出せるよう、ひたすらに日々の教育を充実させていかななくてはならない。椋山女学園大学附属小学校のさらなる発展を！

特集 なわとび大会の歴史 P2

学期のトピックス P3 / 委員会・部活動報告 P4 / 学期の記事 P5

学年トピックス P6~P17

PTA P18、P19 / 職員の諸活動・学園トピックス・編集後記 P20

CONTENTS